

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公表番号】特表 2007-506768 (P2007-506768A)
 【公表日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-011
 【出願番号】特願 2006-528240 (P2006-528240)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/58 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 9/14

A 6 1 P 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 24 日 (2007.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

慢性閉塞性肺疾患を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

1 日用量で経口吸入により投与するのに適切なフランカルボン酸モメタゾン粒子を含み、ここで該粒子の少なくとも約 250 μ g が、約 6.5 μ m 以下のサイズを有する、組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の組成物であって、1 日用量中の前記フランカルボン酸モメタゾン粒子の約 50 μ g 未満は、約 1 μ m より小さいサイズを有する、組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、1 日に 1 回投与するのに適切である、組成物。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、晩に投与するのに適切である、組成物。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンの 1 日用量は、ほぼ等分ずつ、約 12 時間間隔で 2 回で投与するのに適切である、組成物。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の組成物であって、前記 1 日用量は、約 600 μ g までの、約 6.5 μ m 以下のサイズを有するフランカルボン酸モメタゾン粒子を含む、組成物。

【請求項 7】

請求項 2 に記載の組成物であって、1 日用量は、少なくとも約 200 μ g の、約 4.4 μ m 以下の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 8】

請求項 2 に記載の組成物であって、1 日用量は、少なくとも約 175 μg の、約 3.3 μm 以下の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 9】

請求項 2 に記載の組成物であって、1 日用量は、少なくとも約 75 μg の、約 2 μm 以下の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 10】

慢性閉塞性肺疾患を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

1 日 1 回用量において、約 600 μg までの、約 6.5 μm 以下の直径を有するフランカルボン酸モメタゾンを経口吸入により投与するのに適切であるフランカルボン酸モメタゾン粒子を含む、組成物。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の組成物であって、前記用量中のフランカルボン酸モメタゾン粒子の約 50 μg 未満が、約 1 μm より小さい直径を有する、組成物。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の組成物であって、前記用量は、少なくとも約 200 μg の、約 4.4 μm 未満の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 13】

請求項 11 に記載の組成物であって、前記用量は、少なくとも約 175 μg の、約 3.3 μm 未満の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 14】

請求項 11 に記載の組成物であって、前記用量は、少なくとも約 75 μg の、約 2 μm 未満の直径を有する粒子を含む、組成物。

【請求項 15】

慢性閉塞性肺疾患を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

1 日用量において約 600 μg までの、約 6.5 μm 以下の直径を有するフランカルボン酸モメタゾン粒子を経口吸入により投与するのに適切であるフランカルボン酸モメタゾン粒子を含み、少なくとも約 200 μg の粒子が、約 4.4 μm 以下の直径を有し、少なくとも約 175 μg の粒子が、約 3.3 μm 以下の直径を有し、少なくとも約 75 μg の粒子が、約 2 μm 以下の直径を有し、そして約 50 μg 未満の粒子が、約 1 μm より小さい直径を有する、組成物。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、1 日に 1 回投与するのに適切である、組成物。

【請求項 17】

請求項 16 に記載の組成物であって、前記用量は、晩に投与するのに適切である、組成物。

【請求項 18】

請求項 15 に記載の組成物であって、前記 1 日用量は、少なくとも約 250 μg の、約 6.5 μm 以下の直径を有するフランカルボン酸モメタゾン粒子を含む、組成物。

【請求項 19】

慢性閉塞性肺疾患を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

800 μg の 1 日用量で経口吸入により投与するのに適切であるフランカルボン酸モメタゾン粒子を含む、組成物。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、1 日に 1 回投与するのに適切である、組成物。

【請求項 21】

請求項 20 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、晩に投与するのに適切である、組成物。

【請求項 2 2】

請求項 2 0 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、繰り返される C O P D 再燃の病歴を有する患者に投与するのに適切である、組成物。

【請求項 2 3】

請求項 2 1 に記載の組成物であって、前記フランカルボン酸モメタゾンは、繰り返される C O P D 再燃の病歴を有する患者に投与するのに適切である、組成物。

【請求項 2 4】

請求項 2 0 に記載の組成物であって、前記慢性閉塞性肺疾患は、中程度から非常に重篤な気道閉塞によって特徴づけられる、組成物。

【請求項 2 5】

請求項 2 1 に記載の組成物であって、前記慢性閉塞性肺疾患は、非常に重篤な気道閉塞によって特徴づけられる、組成物。